

禅学関係雑誌論文目録（昭和56年）

著者	論文名	雑誌名	巻号	発行月
〔思想〕				
井筒俊彦	意識と本質—東洋哲学の共時的構造化のために—(因)	思想	687 690	9 12
高橋 亘	西田幾多郎における東洋的なるものと西洋的なるもの	カトリック研究	40	12
堀尾 孟	二つの自由論—シェリングの自由論と西田幾多郎の自由意志—	大谷大学研究年報	34	3
松山康国	絶対無と神—西田・田辺哲学の伝統とキリスト教—	ブデリスト	10	10
海辺忠治	西田哲学と久松哲学—久松禅と浄土真宗をめぐって—	ブデリスト	9	7
阿部正雄	仏教と純粋理性(一)	理想	583	12
沼田 隆	久松真一における宗教性について(2)	愛知教背大学研究報告, 人文科学	30	3
藤吉 慈海	FAS禅の特色	印度学仏教学研究	29, 2	3
久松真一	六祖壇經講義 頓漸第八, 宣詔第九	ブデリスト	7 10	1 10
木南広峰	無心について	宗学研究	23	3
安藤正英	仏心—真・善・美の泉—	京都女子学園・仏教文化研究所紀要	11	3
藤吉 慈海	中国における禅と浄土教の間	仏教思想史	4	12
上原智周	禅と念仏	京都女子学園・仏教文化研究所紀要	11	3
田上太秀	菩提心の原語とその思想—その原流を求めて—	駒沢大学仏教学部研究紀要	39	3
紀野一義	自然ということ	禅文化	100	3
仙石景章	唐代初期の禪觀思想	駒沢大学仏教学部論集	12	10
宇野善康	臨濟録の体験	古田紹欽博士古稀記念論集・仏教の歴史的展開に見る諸形態(以下、古田博士論集と略称)		6
恩田 彰	禅の悟りと創造性	印度学仏教学研究	30, 1	12
柴野 恭堂	覚と全体作用	正法	1	3
鈴木 哲雄	即心是仏から非心非仏へ	宗学研究	23	3
原田 弘道	公案理解の一視点	駒沢大学仏教学部研究紀要	39	3
半田 栄一	道元における修行と悟り	中央大学大学院研究年報	10, 2	3

玉城 康四郎	道元の現代思想的意味	講座道元	7	4
杉 靖三郎	生理学と道元	講座道元	7	4
平井 富雄	精神医学と道元	講座道元	7	4
笠井 貞	道元と実存哲学(一) —ハイデガー・ヤスパース—	講座道元	7	4
森本 和夫	道元と実存哲学(二)—サルトル—	講座道元	7	4
脇本 平也	道元の宗教学的意味(一)	講座道元	7	4
東 専一郎	道元の宗教学的意味(二)	講座道元	7	4
山哲 哲雄	道元と白楽天—珠と鏡と夢と—	古田博士論集		6
茅原 正	道元禅における行と時	駒沢社会学研究	13	3
源 重浩	道元における宗教経験の構造—浄土教における宗教経験解明への手がかりとして—	真宗研究	25	3
佐久間 仏心	修と証との問題	傘松	452	5
成田 英道	道元禅師における身心について	宗学研究	23	3
寛 無関	希有について	宗学研究	23	3
田中 現詠	道元禅師に於ける究尽の意味	宗学研究	23	3
井上 義衍	身心脱落と脱落身心	宗学研究	23	3
仙石 景章	観心論の思想と特質について	宗学研究	23	3
杉尾 玄有	道元禅師の精神構造 —仏性第七段によって考える—	宗学研究	23	3
中野 東禅	不染汚概念の生命性と社会性	教化研修	25	10
大久保 道舟	本証の安住から妙修の教化へ	教化研修	25	10
源 了円	盤珪における不生の思想	日本文化研究所 研究報告(東北大)	17	3
源 了円	盤珪と藤樹・蕃山—近世初期における 仏教と儒教との交渉の一断面—	古田博士論集		6
西村 恵信	出家の倫理 —東嶺和尚年譜を読み—	古田博士論集		6
〔中国〕				
松崎 清浩	傅大土の思想	駒沢大学大学院 仏教学研究會年報	15	12
末光 愛正	牛頭宗に及ぼせる三論宗の影響 —相即・無礙思想—	宗学研究	23	3
本南 広峰	牛頭宗について —特に絶観論を中心として—	駒沢大学仏教学部 論集	12	10
竹内 弘道	南宗定是非論の成立について	印度学仏教学研究	29, 2	3
田中 良昭	北宗禅と南宗禅—神会の北宗批判—	仏教思想史	4	12
竹内 弘道	荷沢神会考 —神会語録の成立について—	駒沢大学大学院 仏教学研究會年報	15	12
竹内 弘道	荷沢神会考	曹洞宗研究員研究生 研究紀要	13	7

竹内弘道	荷沢神会考 —基本資料の成立について—	宗学研究	23	3
ポール・ドミエヴィル 林信明 訳	神会語録とチベット宗論—中国 禪に関する二つの敦煌資料—	禅学研究	60	10
沖本克己	初期の習禅者達	仏教学	13	10
花塚久義	初期禅宗の形成に関する一試論	宗学研究	23	3
柳田聖山	大正新修大藏経と歴代法宝記、および その周辺の問題	古田博士論集		6
柳田聖山	新統灯史の系譜 叙の二	禅学研究	60	10
渡部正英	歴代法宝記についての一考察	宗学研究	23	3
田中良昭	禅宗伝灯説の成立と展開 —東土の伝灯説を中心として—	古田博士論集		6
田中良昭	付法蔵因縁伝とその発展 —P 2776写本とその異本—	駒沢大学仏教学部 研究紀要	39	3
田中良昭	付法蔵因縁伝の西天祖統説	宗学研究	23	3
木村隆徳	金剛経を媒介とした禅と印度仏教の 比較	仏教学	11	4
長嶋孝行	恵能に関する年月日	印度学仏教学研究	30, 1	12
志村良治	馬祖と楞伽経	正法	1	3
石井修道	頓悟漸修について —裴休拾遺問を中心として—	印度学仏教学研究	29, 2	3
椎名宏雄	参同契の性格と原文	宗学研究	23	3
鈴木哲雄	江西の禅宗の推移(上)	禅研究所紀要	10	3
鈴木哲雄	湖南の禅宗に関する資料	愛知学院大学 文学部紀要	10	3
入矢義高	臨濟録雜感	禅文化	100	3
入矢義高	生と死と —水と水の喩えをめぐって—	仏教史学研究	23, 1	1
西尾賢隆	唐代後半期における 成徳藩鎮下の仏教	古代文化	33, 10	10
近藤良一	慈悲三蔵慧日の禅宗批判とその対象	古田博士論集		6
柳田聖山	不立文字の世界—禅問答を考える—	言語生活	350	2
沖本克己	清規研究ノート	戒律思想の研究		10
平田精耕	禅の生活	禅文化	100	3
ポール・ドミエヴィル、 林信明 訳	祖堂集の世界	花園大学研究紀要	12	3
池田魯参	天台止観と禅 —湛然教学の禅宗批判—	仏教思想史	4	12
遊佐昇	王梵志詩集一卷について(1)	東洋大学大学院紀要	17	2
塩見邦彦	唐詩俗語新考	立命館文学	430, 431, 432	6
柴田泰	究竟大悲経と臥輪禅師偈 —疑経と讚偈—(2)	札幌大谷短期大学紀要		10

				11
石井 修道	宋代禅宗史上にみられる六祖慧能像	古田博士論集		6
篠原 寿雄	禅清規に見える礼観念	荒木教授退休記念 中国哲学史研究論集		12
椎名 宏雄	古尊宿語録正統諸本の系統	曹洞宗研究員研究 生研究紀要	13	7
大久保 道舟	曹洞禅の大成と天童如浄禅師の思想 (上)(中)(下)	傘松	449, 450, 451	2, 3, 4
鏡島 元隆	天童如浄禅師研究について	禅研究所紀要	10	3
永井 政之	南宋禅林と中国の社会風俗—如浄録 ・虚堂録の因事上堂をめぐつての試 論—(一)	曹洞宗研究員研究 生研究紀要	13	7
佐藤 秀孝	五灯会元編集の一疑点	印度学仏教学研究	29, 2	3
大松 博典	南宋天台と禅宗	宗学研究	23	3
永井 政之	万松行秀の伝記をめぐる諸問題 —資料・洪濟寺・舍利塔—	飯田利行博士古稀記念 東洋学論叢		1
野口 善敬	元代禅門の苦惱 —笑隠大訶の行状をめぐって—	九州中国学会報	23	5
藤島 建樹	元朝治下江南の士大夫たち —笑隠大訶をめぐって—	大谷学報	61, 2	9
佐藤 秀孝	元の中峰明本について	宗学研究	23	3
野口 善敬	禅浄一致に関する一考察 —天如惟則から雲棲株宏へ—	荒木教授退休記念 中国哲学史研究論集		12
永井 政之	独庵玄光について —儒教への関心をめぐって—	印度学仏教学研究	30, 1	12
長谷部 幽蹊	智楷撰正名録について	印度学仏教学研究	30, 1	12
石井 修道	恵昕本六祖壇経の研究—定本の試作 と敦煌本との対照—(統)	駒沢大学仏教学部 論集	12	10
石井 修道	契嵩本六祖壇経の一臆説	宗学研究	23	3
石井 修道	真福寺文庫所蔵の裴休拾遺問の翻刻	禅学研究	60	10
椎名 宏雄	宋元版禅籍研究 —如々居士語録・三教大全語録—	印度学仏教学研究	29, 2	3
小葉田 淳	寧波と天童寺	千葉乗隆博士還暦記念論集 ・日本の社会と宗教		12
竹島 善一	天童寺を訪ねて	大法輪	48, 10	10
〔敦煌〕				
田中 良昭	敦煌仏典と禅	駒沢大学大学院 仏教学研究會年報	15	12
〔チベット〕				
木村 隆徳	敦煌チベット語禅文献目録初稿	東京大学文学部文化 交流研究施設研究紀要	4	3
〔朝鮮〕				
卓 萬植	高麗知訥禅師の行蹟	印度学仏教学研究	29, 2	3

〔日本〕

吉田清	古代における禪師	花園史学	1	3
伊東洋一	道元と如浄一如浄禪師語録到来を中心に一	文経論叢(弘前大)	16, 1	3
鈴木泰山	洞山の五位説と道元禪師の態度一洞門の守護領国制社会への接着剤一	宗学研究	23	3
中世古祥道	道元禪師実父研究上の一資料一わが国古来の世代の教え方について一	宗学研究	23	3
伊藤秀憲	道元禪師の遺偈と鎌倉行化	駒沢大学仏教学部論集	12	10
笛岡自照	永平寺非移転説余論一高祖大師御靈骨問題を重点として一	傘松	450	3
水野彌穂子	林間録から正法眼蔵へ	古田博士論集		6
伊藤秀憲	正法眼蔵撰述示衆年代考	駒沢大学仏教学部研究紀要	39	3
鏡島元隆	正法眼蔵と修証義	古田博士論集		6
河村孝道	正法眼蔵に於ける生死観の種々相	日本仏教学会年報	46	3
河村孝道	正法眼蔵の研究一正法眼蔵開書抄依用の正法眼蔵本文復原化の試み一(六)	駒沢大学仏教学部研究紀要	39	3
神戸信寅	正法眼蔵全機の生死について	日本仏教学会年報	46	3
西嶋和夫	正法眼蔵における仏教・仏経・仏性・仏道の四諦論的展開について	宗学研究	23	3
東隆真	正法眼蔵の成立一発無上心と発菩提心の巻について一	宗学研究	23	3
川村昭光	アビダルマ仏教と十二卷眼蔵について	宗学研究	23	3
伊藤秀憲	永平広録と略録の関係	印度学仏教学研究	30, 1	12
伊藤秀憲	正法眼蔵の示衆について	宗学研究	23	3
鈴木祐孝	弁註の引用について(四)	宗学研究	23	3
水野彌穂子ら	正法眼蔵を味読する	大法輪	48, 10	10
菅沼貞三	空手還郷	宗学研究	23	3
佐藤悦成	正法眼蔵随聞記の性格について	東海仏教	26	5
水野彌穂子	宝慶記と随聞記	宗学研究	23	3
田中敬信	正法眼蔵随聞記私考(その10)	宗学研究	23	3
篠原寿雄	清規の撰述一永平道元の場合一	古田博士論集		6
黒丸寛之	道元禪師の公案解釈一一百丈野狐の話について一	宗学研究	23	3
新野光亮	礼拝の意義について一一道元禪を中心として一	宗学研究	23	3
奈良康明	海外から見た道元	講座道元	7	4
荻須純道	日本臨濟禪の流れ	禅文化	100	3

中尾良信	退耕行勇につて	印度学仏教学研究	29, 2	3
岡本貞雄	一遍と覚心	印度学仏教学研究	30, 1	12
中尾良信	無本覚心について	宗学研究	23	3
千坂嶮峰	虎関師鍊における權威主義	正法	1	3
明良一郎	無住における智慧について	国学院雑誌	82, 8	8
竹内道雄	孤雲懷辨禪師伝について —永平寺時代—	宗学研究	23	3
竹内道雄	孤雲懷辨禪師伝	傘松	448	1
東隆真	伝光録の成立(一)	駒沢女子短期大学 研究紀要	15	
新井勝龍	伝光録における曹洞禅と臨濟禅	宗学研究	23	3
新津康	蘭溪下山南松院蔵の疑問について	甲斐路	40	4
松尾剛次	室町幕府の禅・律対策	鎌倉	37	2
ささきともこ	中岩円月一行動・思想の変化と詩の 展開—私詩から偈頌—	日本文学	30, 9	9
広瀬良弘	寒巖派の永平寺出世問題について	宗学研究	23	3
遠藤孝次郎	永平弁道話流通考(続)	印度学仏教学研究	29, 2 30, 1	3 12
加藤宗厚	洞上正宗訣。永平正宗訓の分析	宗学研究	23	3
秋月龍瑛	一休和尚の骸骨の歌	大法輪	48, 3	3
吉村貞司	佗茶の根源としての一休の茶	禅文化	100	3
堀内宗完	武野紹鷗の茶と禅	禅文化	100	3
鈴木宜邦	臨濟録密鈔における生死	日本仏教学会年報	46	3
金田弘	叡山文庫と禅籍抄物—主として洞門 抄物類とその性格について—	国学院雑誌	82, 5	5
石川力山	中世禅宗教団の展開と禅籍抄物資料	古田博士論集		6
石川力山	中世禅宗史研究と禅籍抄物資料	飯田利行博士古稀記念 東洋学論叢		1
田島柏堂	新資料山上氏所蔵写本塩山開山法語, 絶学伊路波歌, 瑩山帝尊問答の研究	愛知学院大学 文学部紀要	10	3
松田紹典	戦国末期の本派教線と瑞巖寺	正法	1	3
岩崎宗純	越相和融と北条氏康使僧天用院	歴史手帖	9, 12	12
竹貫元勝	近世大徳寺教団の全貌	花園史学	2	11
中島亮一	妙心寺派の江戸進出の様態	印度学仏教学研究	30, 1	12
村山泰応	虎哉宗乙と伊達政宗	正法	1	3
佐々木章格	永戸開基帳にみる曹洞宗寺院につ いて	印度学仏教学研究	30, 1	12
遠藤広昭	禅宗の地方発展 —佐藤地方を中心として—	駒沢大学史学論集	11	3

守尾	茂	末寺の去就と信仰の政治的誘因—宇治興聖寺と大和十津川郷寺院の本末の特異例について—	印度学仏教学研究	30, 1	12
広瀬	良弘	小川町西光寺所蔵の禅籍二点—龍洲文海下語・天嶺吞補下語—	文書館報	8	6
木村	博	黄檗山万福寺の寺地選定	歴史手帖	9, 7	7
玉城	康四郎	盤珪禅の特徴	古田博士論集		6
中川	時雄	Wordsworthの詩にあらわれる生命感に関するエッセイ—ワーズワスと盤珪禅師—	神戸外大論叢	32, 1	8
木村	玄芳	読解・大門宝鑑国師年譜(-)	正法	1	3
安藤	正瑛	盤珪禅師のうすひき歌	大法輪	48, 3	3
高神	信也	江戸仏教の特質—白隠の人と思想—(2)	智山学報	30	4
高橋	敏	白隠とその時代—近世の民衆文化と民俗—	歴史手帖	9, 11	11
松原	泰道	白隠禅師の施行歌・草取唄	大法輪	48, 3	3
石附	勝龍	良寛和尚と道元禅	印度学仏教学研究	29, 2	3
越沢	洋	沫雪の一良寛の和歌—	飯田利行博士古稀記念 東洋学論叢		1
北川	省一	良寛の隠された憂い	大法輪	48, 9	9
デニス・ノーラン		キーンとワトソンに見る二つの良寛像	駒沢大学大学院 仏教学研究会年報	15	12
佐藤	俊明	天桂禅師の渡世の船歌	大法輪	48, 3	3
鈴木	助次郎	龍門の梅—糸和尚伝—	禅文化	101	7
吉村	貞司	純然として白日を捧ぐ—糸文守の精神とその時代—	禅文化	101 102	7 10
小松	茂美	光広と沢庵と一糸と	古田博士論集		6
市川	白弦	ふたつの夜話をめぐって—大梅夜話と東海夜話—	禅文化	101	7
原田	龍門	大梅山夜話抄—現代語訳と解説—	禅文化	101	7
石川	力山	永平寺秘密頂王三昧記再考	駒沢大学仏教学部 論集	12	10
石川	力山	美濃国竜泰寺所蔵の門参資料について(下)	駒沢大学仏教学部 研究紀要	39	3
石川	力山	肥前円応寺所蔵の門参資料について	印度学仏教学研究	29, 2	3
石川	力山	円応中興了然和尚法語について	宗学研究	23	3
柳田	征司	江戸時代初期における禅僧の抄物作成活動	古田博士論集		6
成河	峰雄	月舟宗胡と透閑末(本)徹—三河竜溪院の輪住について—	宗学研究	23	3
永井	政之	独庵玄光をめぐる諸問題—その中国禅理解について—	宗学研究	23	3

吉田道興	独庵玄光と天桂伝尊の嗣法観	宗学研究	23	3
田島柏堂	萊翁黙仙語録・長栄静高開堂録について	禅研究所紀要	10	3
柏田大禅	舟道話における修証辺の宗旨 一面山禅師批判一	宗学研究	23	3
神野真一	老梅庵と面山和尚(一)(二)(三)	傘松	452, 453, 454	5, 6, 7
西尾善英	玄透即中禅師の研究	愛知学院大学 文学部紀要	10	3
川口高風	永平寺五十代玄透禅師遺墨集について	傘松	453	6
吉岡博道	州庵遺稿について 一太玄僧参和尚覚書一	宗学研究	23	3
山本三朗	大願梵千和尚と俳人宝井其角の関係	沼津史談	30	12
加藤正俊	越叟義格禅師の生涯(一)(二)(三)	清泉	1, 2, 3	1, 4, 7
加藤正俊	滴水禅師の遺偈	清泉	4	10
川口高風	明治期永平寺後堂大島天珠和尚伝	宗学研究	23	3
川口高風	観音懺法刊行史上における白鳥鼎三 本の特徴	禅研究所紀要	10	3
川口高風	曹洞宗における仏遺教経の刊行史 一白鳥鼎三を縁として一	印度学仏教学研究	29, 2	3
金井幸佐久	曹洞宗宝満山白雲院林昌寺破仏事件 の一考察	群馬県史研究	14	8
大友泰司	漾虚集と漢籍一幻影の盾を中心に一	飯田利行博士古稀記念 東洋学論叢		1
嶋野栄道	千崎如幻師と宋洩老師の交流	禅文化	101	7
樽林皓堂	正法眼蔵啓迪とその成立過程	傘松	459	12
河村孝道	正法眼蔵編集・開版概説一本山版正 法眼蔵開版の前史として一	傘松	459	12
金田弘	江戸時代洞門宗典カナ書注疏におけ る文体の変遷(試論)	古田博士論集		6
田島柏堂	新資料塩山開山法語・絶学伊路波歌 の古写本について	古田博士論集		6
田島柏堂	新資料壁山帝尊問答の古写本につい て	宗学研究	23	3
平岡定海	尾張国妙興寺の成立について	古田博士論集		6
野脇格	永光寺をたずねて	北陸都市史学会報	3	8
杉野丞	東海地方における近世臨濟宗本堂の 研究(その一)臨濟寺本堂	愛知工業大学 研究報告	16B	3
石田善人	東福寺領備中国上原郷について (上)(中)	岡山県史研究	創刊号 2	1 6
三浦勝男	建長一山衆議障	鎌倉	38	9
伊藤智子	建長寺諸末山僧籍(1)(2)	鎌倉	38 39	9 12

	円覚寺帰源院文書	神奈川県立博物館 人文部門資料目録	4	3
〔その他〕				
常盤義伸	大乗の経ランカーに入る第二章の一 基礎研究	花園大学研究紀要	12	3
上山大峻	敦煌出土円暉述楞伽經疏攷	木村武夫教授古稀記念 僧伝の研究		12
菅沼晃	入楞伽經無常性品・現観品・如来常 無常品・変化品訳註	東洋大学文学部紀要	34	3
松原泰道	釈尊最後の教え遺教経	大法輪	48, 5	5
服部松斎	修証義はどういう聖典か —覧表による布教の試み—	教化研修	25	10
中野玄三	明恵上人樹上坐禅随想	古美術	59	7
井上貫道	坐るといふこと —どうあればよいのか—	宗学研究	23	3
江見佳俊 千野直仁	大学生の参禅行動の構造分析 (その四)	禅研究所紀要	10	3
松樹素道	仏教保育と領域社会への一考察(そ の7) —幼児教育における坐禅指導 の実践と考察—	鶴見大学紀要	18, 3	3
中野東禅	現代禅宗儀礼における内心性と日常 性の葛藤	儀礼文化	1	10
伊阿弥	道元禅師の入宋—中国・インドの国 情並に爛熟文化の座による仏教音楽 の形態	練馬区郷土史研究会 会報	151	1
吉河功	常栄寺前史と雪舟作庭説(上)(下)	庭研	212 213	11 12
松田文雄	了庵慧明伝考—特に二幅の画賛をめ ぐって—	文化(駒大)	6	3
亀山卓郎	白隠の画における樹の葉の意義につ いて	禅文化	101	7
甲斐常興	石造寒山拾得像	史迹と美術	517	8
古田紹欽	禅芸術雑感	禅文化	100	3
村井康彦	茶の湯と仏教	京都女子大学研究 紀要	12	12
栗田勇	夢窓(竹)〜(松)	海	13・2〜12	2〜12
岡田利兵衛	禅と鬼貫	禅文化	101	7
池田豊人	禅と福祉	花園大学研究紀要	12	3
秦慧玉	禅三話	理想	578	7
柳田聖山	教壊といふこと	禅文化	100	3
秋月龍珉	在家禅のすすめ	禅文化	100	3
伊豆山格堂	禅批判三種	禅文化	100	3
〔書評・紹介〕				

竹 貫 元 勝	正法山六祖伝訓註 (荻須純道著)	花園史学	1	3
新 野 光 亮	講座道元Ⅲ道元の著作 (鏡島元隆・玉城康四郎編)	傘松	449	2
鏡 島 元 隆	講座敦煌8 敦煌仏典と禅 (篠原寿雄・田中良照編)	駒沢大学仏教学部 論集	12	10
今 泉 元 司	一休狂雲集の世界 (柳田聖山著)	ブデリスト	7	1
藤 吉 慈 海	わらじからの出発—海外に根をおろす禅 (宝積玄承著)	ブデリスト	8	4

〔西尾賢隆編〕